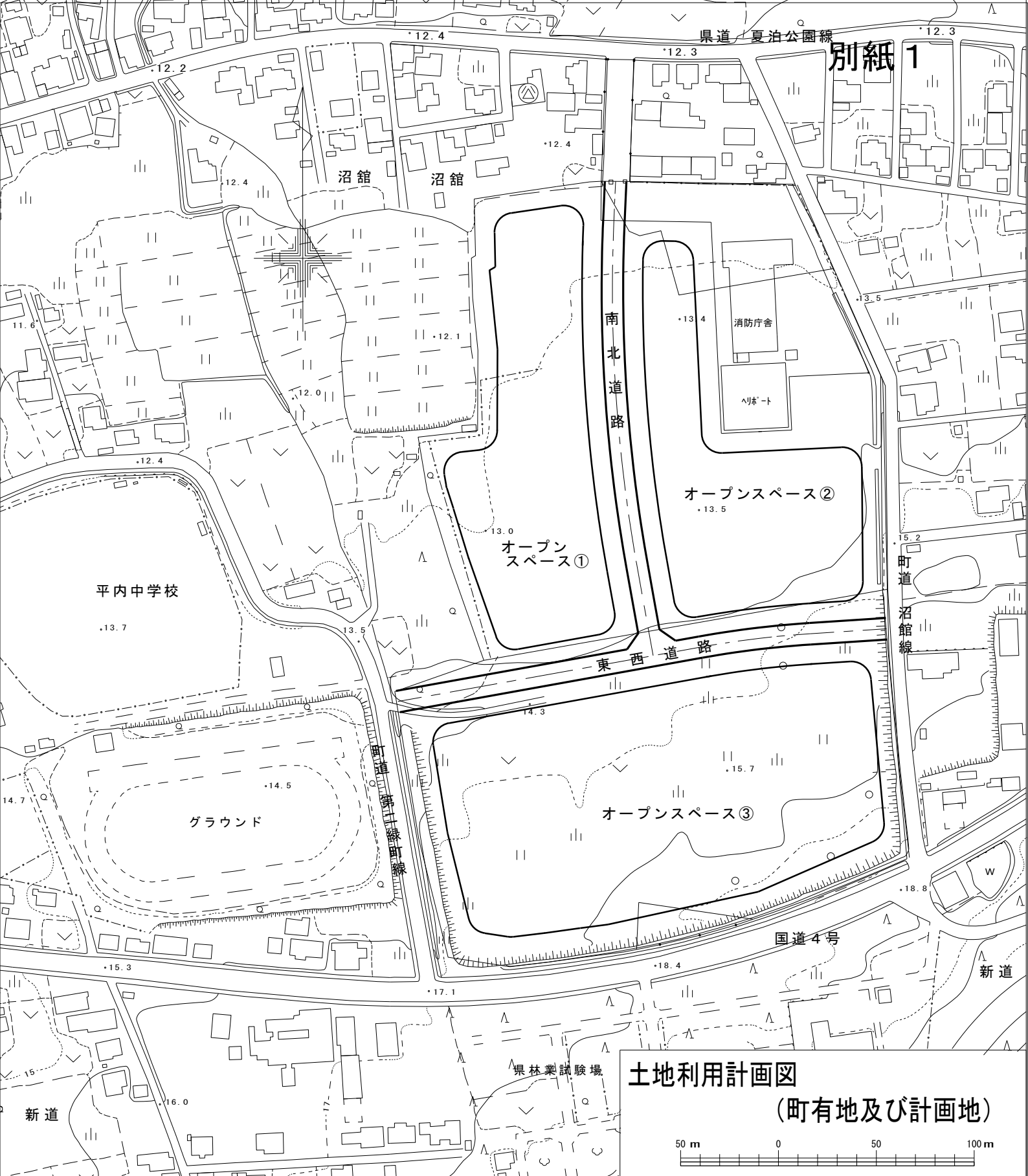




区画番号	面積	土地利用方針	宅盤高さ設定
オープンスペース①	約19,000㎡	・ 標高が低い北側は、防災調整池機能の設置検討 ・ その他は、多目的用途（商業施設、公共施設等）	南北道路 と同程度
オープンスペース②	約16,000㎡	・ 公園・緑地・職員駐車場として整備	同上
オープンスペース③ (新庁舎計画可能範囲)	約30,000㎡	・ 東側は新庁舎新築敷地（面積約10,000㎡） ・ 西側は多目的用途（公共施設等）	東西道路 と同程度

図3. 土地利用計画図（町有地及び計画地）

「平成29年度 緑 業第2号 旧青森少年院跡地地質調査業務委託」概要版

1.業務目的

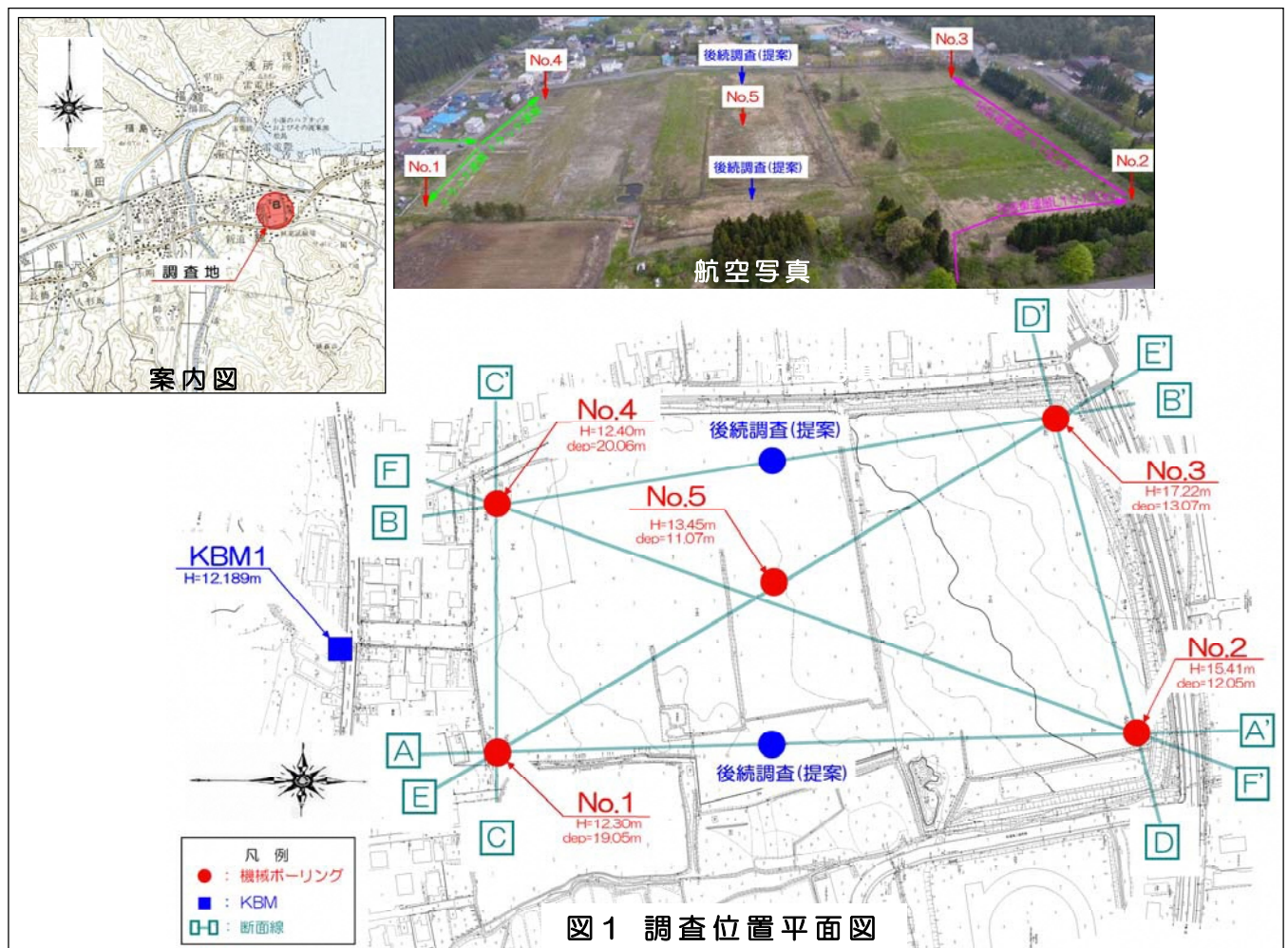
本調査は、旧青森少年院跡地の地盤情報を把握し、設計・施工に必要な地盤資料(地層構成・地下水位・支持層・工学的特性)を得ることを目的とする。

概略数量:①足場仮設:平坦地5箇所・②特装车運搬:延330m

③機械ボーリング:φ66mm5孔(延75.0m) ④標準貫入試験:延75回

⑤室内土質試験(物理試験):一式

2.調査位置平面図(S=1:non)



3.地形・地質概要

調査地は、平内町の町有地である旧青森少年院跡地に位置する。明治45年頃の旧地形は、水田利用され背後地が湿地や荒地となっており、集水地形であったことが判読される。また調査地周辺の地形は、小湊台地となっており、隆起により形成された第三系丘陵地が、浸食・海進海退の繰返し作用により、丘陵地起源の崩積土が堆積しているものと推察される。

調査地周辺の地質は、新第三紀中新世の固結堆積物である和田川安山岩類と呼ばれる安山岩火山砕屑岩や和田川層と呼ばれる泥岩で構成される。

4.調査結果のまとめ

4.1 地盤構成と層相

- ①調査地盤は、盛土(粘性土)[Bc]・沖積粘性土層(Ac1～2)2層・沖積礫質土層(Ag1～3)3層・沖積砂質土層(As)・基盤岩(BR)の計8層で構成される。
- ②堆積状況は、盛土(粘性土)[Bc]の以深より、所々軟らかい沖積第1粘性土層(Ac1)、φ100mm程度の玉石が点在する沖積第1礫質土層(Ag1)、概ね緩い沖積砂質土層(As)が調査地全体に概ね水平に堆積する。下位は、No.2・3・5にN値のバラツキの大きい沖積第2礫質土層(Ag2)、No.1・4に沖積第2粘性土層(Ac2)、N値のバラツキの大きい沖積第3礫質土層(Ag3)が堆積する。最下位は、N値≧60を示す基盤岩(BR)が層厚4.87～5.51mで、No.2・3・5で概ね水平に堆積、No.1・4で概ね水平に堆積し、No.5付近より傾斜していると察される。
- ③孔内水位は、沖積第1礫質土層(Ag1)掘削時に測定され、GL-0.55～0.60mの盛土(粘性土)[Bc]内、GL-0.45～2.40mの沖積第1粘性土層(Ac1)内で平衡水位となり、降雨等の影響により変動する自由面地下水位と推察される。なお、被圧による湧水等は認められていない。

4.2 設計・施工上の留意点

地質時代	土層・地層区分	記号	主な土質・地質	層厚(m)	N値(回)	設計施工上の留意点
第四紀	盛土(粘性土)	Bc	礫混じり砂質シルト シルト・砂質シルト 礫混じりシルト 有機質シルト	0.10～1.20	—	—
	第1粘性土層	Ac1	礫混じり砂質シルト 有機質シルト・粘土 火山灰質シルト 火山灰質粘土	0.45～3.20	2～9	一般粘性土は、所々軟らかく圧密沈下による不同沈下が懸念される。 火山灰系粘土は、地山では安定しているが乱されると建設重機のトラフィカビリティー低下が懸念される。
	第1礫質土層	Ag1	砂礫 礫混じりシルト質砂	1.70～2.70	9～49	φ100mm程度の玉石が点在し、3倍程度の玉石径も考えられる。 液状化発生の可能性無し。
	砂質土層	As	シルト混じり砂 細砂	0.50～4.30	4～14	液状化発生の可能性 M7.5 150～350galで有り。
	第2礫質土層	Ag2	砂礫	0.80～1.60	24～60<	液状化発生の可能性無し。
	第2粘性土層	Ac2	粘土 礫混じり砂質シルト	3.25～4.65	3～15	—
新第三紀	第3礫質土層	Ag3	砂礫	1.45～3.95	23～60<	液状化発生の可能性無し。
	基盤岩	BR	泥岩	4.87～5.51	60< (63～450)	N値60以上が層厚5.0m程度連続し良好な支持層。 伏在深度は、No.1・4でGL-13.80～14.55mと深く No.2・3・5でGL-5.90～8.20mと浅い。 No.5付近を境界に棚形状となっている可能性有り。

5.今後の課題(後続調査)

- 今回調査に基づき、支持層の棚形状の確認のために、No.1とNo.2の中間部とNo.3とNo.4の中間部において調査ボーリングφ66mm15m程度2孔を実施することが提案される。
- また、本調査地内において構造物を設計・施工される際は、計画構造物のジャストポイントにおいて詳細調査φ66mm15m程度4孔を実施することが提案される。

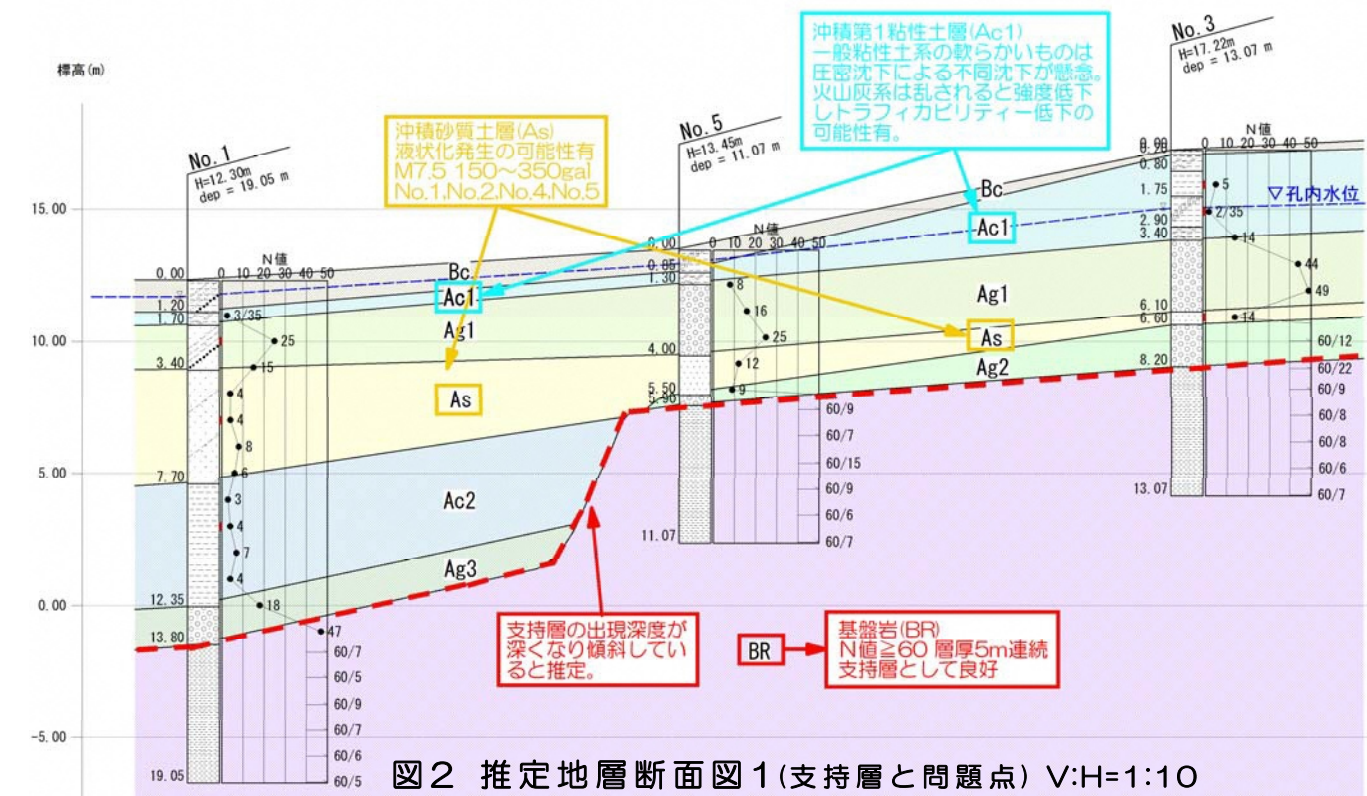


図2 推定地層断面図1(支持層と問題点) V:H=1:10

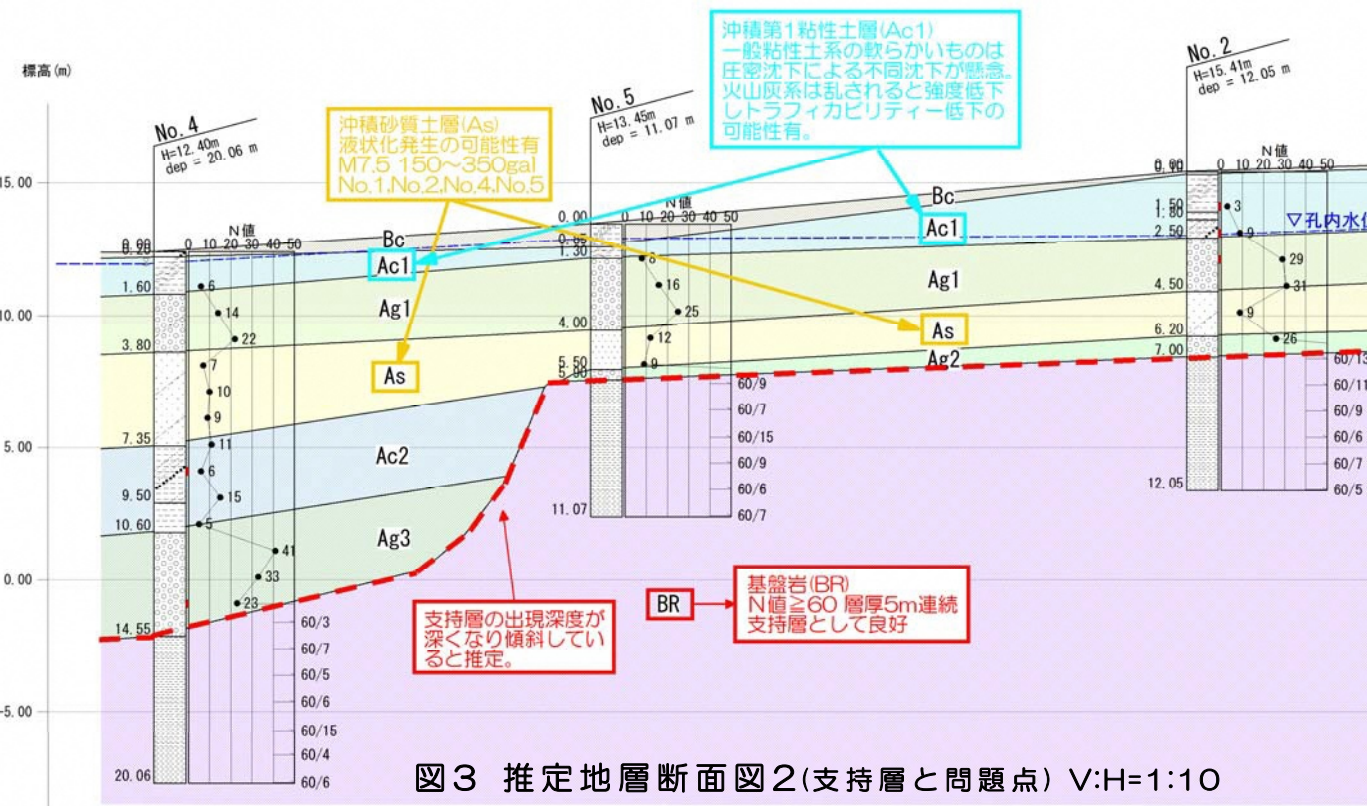


図3 推定地層断面図2(支持層と問題点) V:H=1:10

最後に構造物を設計・施工される際は、基礎形式について、経済性・施工性・維持管理等々について、総合的な検討を行い決定することが望まれる。

以上

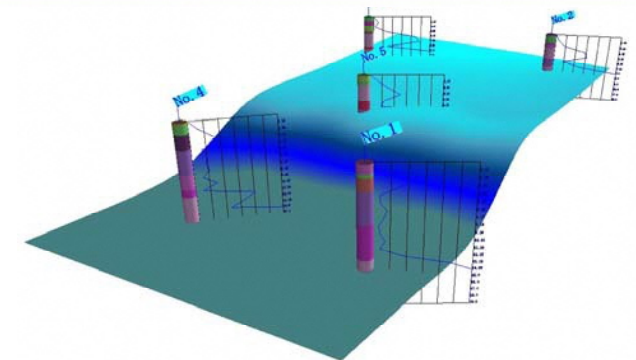


図4 支持層の棚形状のイメージ図

8.まとめ
8.1 地盤構成と堆積状況

- ①調査地は、旧青森少年院建設以前(明治45年頃)は、水田利用され背後地が湿地や荒地等の集水地形であったことが判読される。周辺の地形は、小湊台地(砂礫台地)に位置し、浸食・海進海退の繰返し作用により、丘陵地起源の崩積土が堆積しているものと推察される。
- ②調査地周辺の地質は、新第三紀中新世の固結堆積物である和田川安山岩類と呼称される安山岩火山碎屑岩や和田川層と呼称される泥岩で構成される。
- ③調査地盤は、盛土(粘性土)[Bc]・沖積粘性土層(Ac1～2)2層・沖積礫質土層(Ag1～3)3層・沖積砂質土層(As)・基盤岩(BR)の計8層で構成される。
- ④堆積状況は、地表部に概ね軟らかい粘性土(Bc)が層厚0.10～1.20mで調査地全体に盛土されている。以深は、*N*値=2～9を示し所々軟らかい沖積第1粘性土層(Ac1)が層厚0.45～3.20m、*N*値=9～49を示しφ100mm程度の玉石が点在する沖積第1礫質土層(Ag1)が層厚1.70～2.70m、*N*値=4～14を示す沖積砂質土層(As)が層厚0.50～4.30mで調査地全体に概ね水平に堆積する。
- 下位は、No.2,3,5に*N*値=24～60<を示しバラツキの大きい沖積第2礫質土層(Ag2)が層厚0.80～1.60m、No.1,4に*N*値=3～15を示す沖積第2粘性土層(Ac2)が層厚3.25～4.65m、*N*値=23～60<を示しバラツキの大きい沖積第3礫質土層(Ag3)が層厚1.45～3.95mで堆積する。最下位は、*N*値≥60を示す基盤岩(BR)が層厚4.87～5.51mで、No.2,3,5で概ね水平に堆積、No.1,4で概ね水平に堆積し、No.5付近より傾斜していると推察される。(図8.3参照)

表8.1 調査地の地盤構成と工学的特性

地質時代	土層・地層区分	記号	主な土質・地質	層厚(m)	<i>N</i> 値(回)	地盤定数				
						設定 <i>N</i> 値(回)	単位体積重量γ _t (kN/m ³)	粘着力 <i>c</i> (kN/m ²)	内摩擦角φ(°)	盤反力係数α <i>E</i> _o (kN/m ³)
第四紀 沖積世	盛土(粘性土)	Bc	礫混じり砂質シルト シルト・砂質シルト 礫混じりシルト 有機質シルト	0.10～1.20	—	—	14	15	0	—
	第1粘性土層	Ac1	礫混じり砂質シルト 有機質シルト・粘土 火山灰質シルト 火山灰質粘土	0.45～3.20	2～9	5	16	31	0	14000
	第1礫質土層	Ag1	砂礫 礫混じりシルト質砂 シルト混じり砂礫	1.70～2.70	9～49	19	19	0	32	53200
	砂質土層	As	シルト混じり砂 細砂	0.50～4.30	4～14	7	18	0	25	19600
	第2礫質土層	Ag2	砂礫	0.80～1.60	24～60<	24	19	0	34	67200
	第2粘性土層	Ac2	粘土 礫混じり砂質シルト	3.25～4.65	3～15	7	17	44	0	19600
	第3礫質土層	Ag3	砂礫	1.45～3.95	23～60<	36	19	0	38	100800
新第三紀	中新世	基盤岩	BR 泥岩	4.87～5.51	60< (63～450)	206	21	409	21	420000

※赤字は層境界の計算*N*値を示す。
※()は換算*N*値を示す。

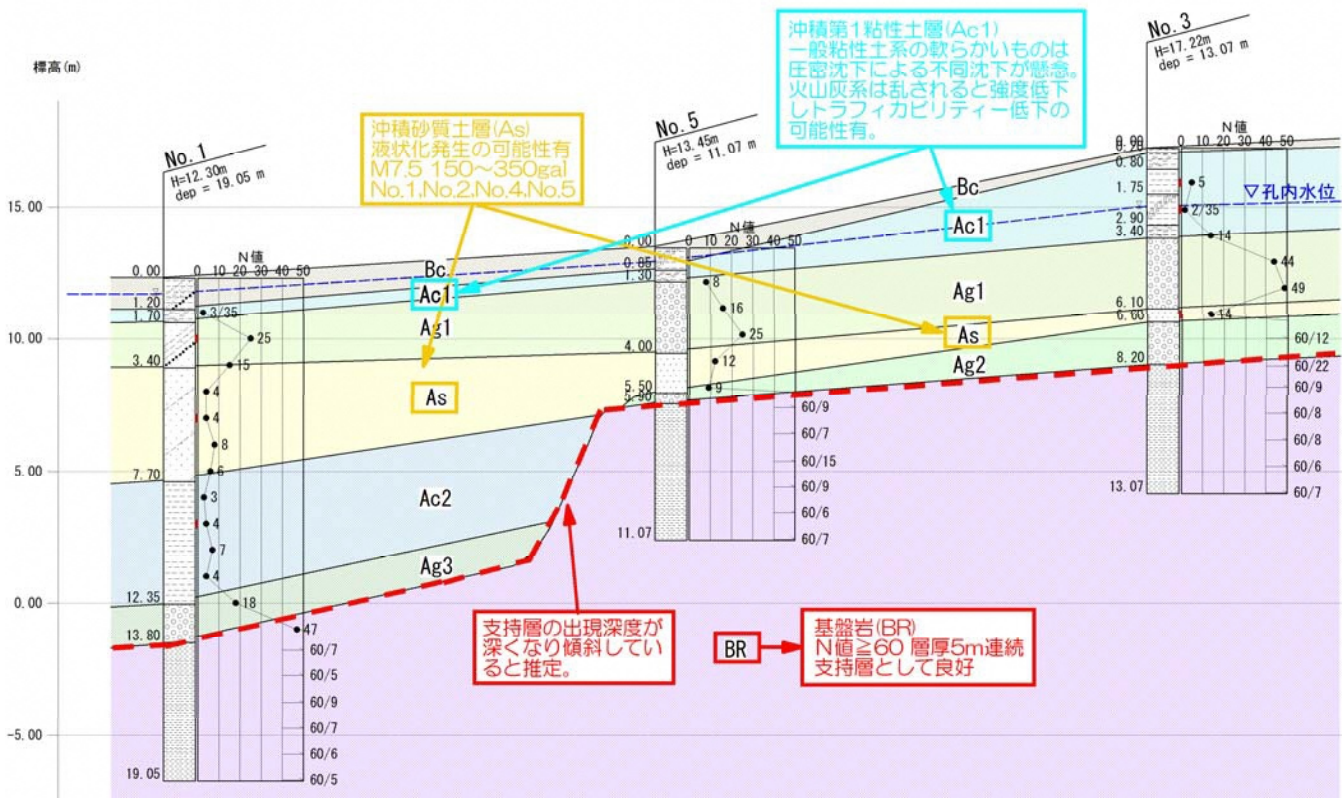
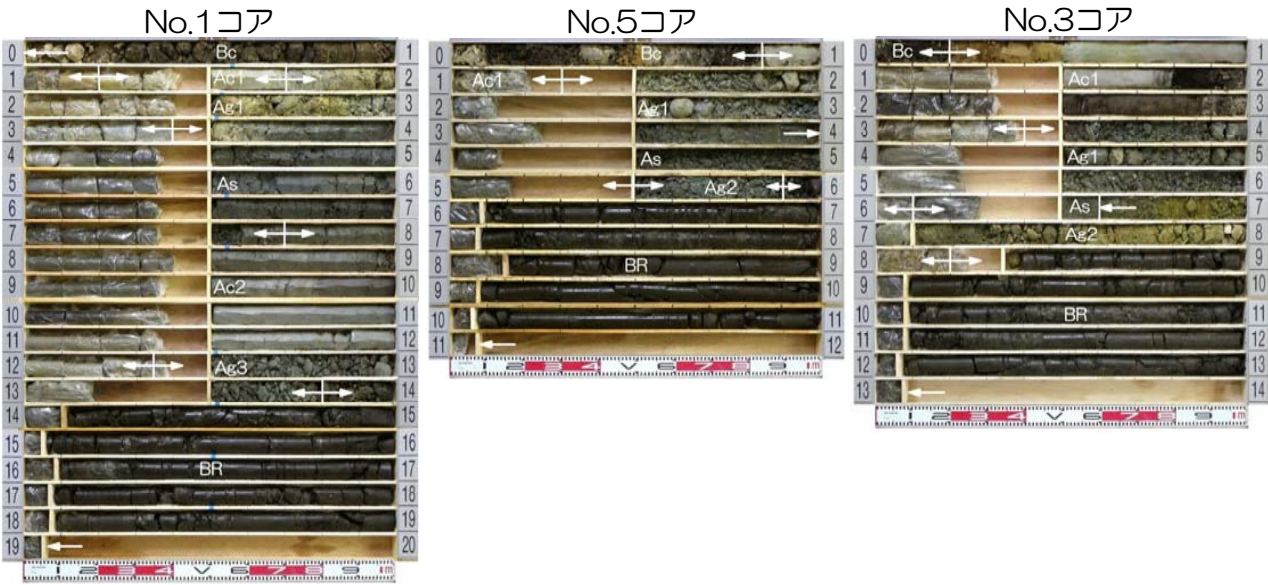


図8.1 推定地層断面図1(支持地盤と留意点)[V:H=1:1.0]



- ⑤孔内水位は、各孔において沖積第1礫質土層(Ag1)掘削時に測定され、No.1・No.5でGL-0.55～0.60mの盛土(粘性土)[Bc]内、No.2・No.3・No.4でGL-0.45～2.40mの沖積第1粘性土層(Ac1)内で平衡水位となり、降雨等の影響により変動する自由面地下水位と推察される。なお、被圧による湧水等は認められていない。

8.2 支持層

- ① 基盤岩 (BR) は、 N 値 ≥ 60 が層厚 5m 程度連続することから、支持層として良好と判断される。

なお、基盤岩 (BR) の伏在深度は、No.1・4 で GL-13.80～14.55m と深く、No.2・3・5 で GL-5.90～8.20m と浅くなっており、No.5 付近を境界に傾斜している可能性がある。(図 8.3 参照)

8.3 設計・施工上の留意点

- ① 沖積第 1 粘性土層 (Ac1) の一般粘性土は、所々軟らかく圧密沈下による不同沈下が懸念され、火山灰系粘土は、地山では安定しているが乱されると強度低下し建設重機のトラフィカビリティー低下が懸念される。
- ② 沖積砂質土層 (As) は、 $\alpha \max = 150 \sim 350 \text{gal}$ で $FL \leq 1.0$ と求められ、液状化発生の可能性がある。また液状化危険度 PL は、 $\alpha \max = 150 \text{gal}$ で「低い」、 $\alpha \max = 200 \text{gal}$ で「高い」、 $\alpha \max = 350 \text{gal}$ で「極めて高い」と判断される。
- ③ 沖積第 1 礫質土層 (Ag1) の地盤中に点在する玉石は、図 8.4 のように点在しており、柱状図に記載された $\phi 100 \text{mm}$ の玉石ではなく、その 3 倍程度の $\phi 300 \text{mm}$ であることが推測される。
- ④ 地下水位は、No.1・4・5 で GL-0.45～0.60m、No.2・4 で GL-2.20～2.40m に位置する。
- ⑤ 基礎形式は、基盤岩 (BR) を支持層とする杭基礎が提案される。

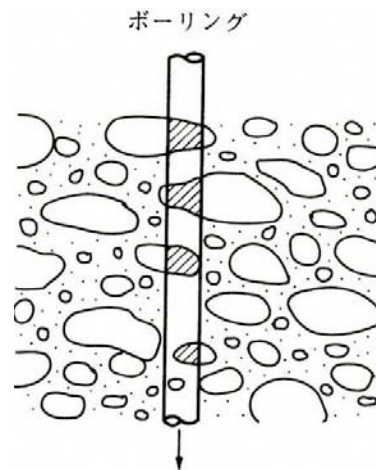


図 8.4 実際の玉石径とボーリングコアの関係

8.4 今後の課題

今回調査に基づいて得られた地盤情報をもとに、支持層が棚形状となっているのかの確認のために、No.1 と No.2 の中間部と No.3 と No.4 の中間部において調査ボーリング $\phi 66 \text{mm}$ 15m 程度 $\times 2$ 孔を実施することが提案される。

また、本調査地内において構造物を施工される際は、計画構造物のジャストポイントにおいて詳細調査 $\phi 66 \text{mm}$ 15m 程度 $\times 4$ 孔を実施することが提案される。

最後に構造物基礎を設計・施工される際は、安全性・経済性・施工性等々について、総合的な検討を行い決定していただきたい。

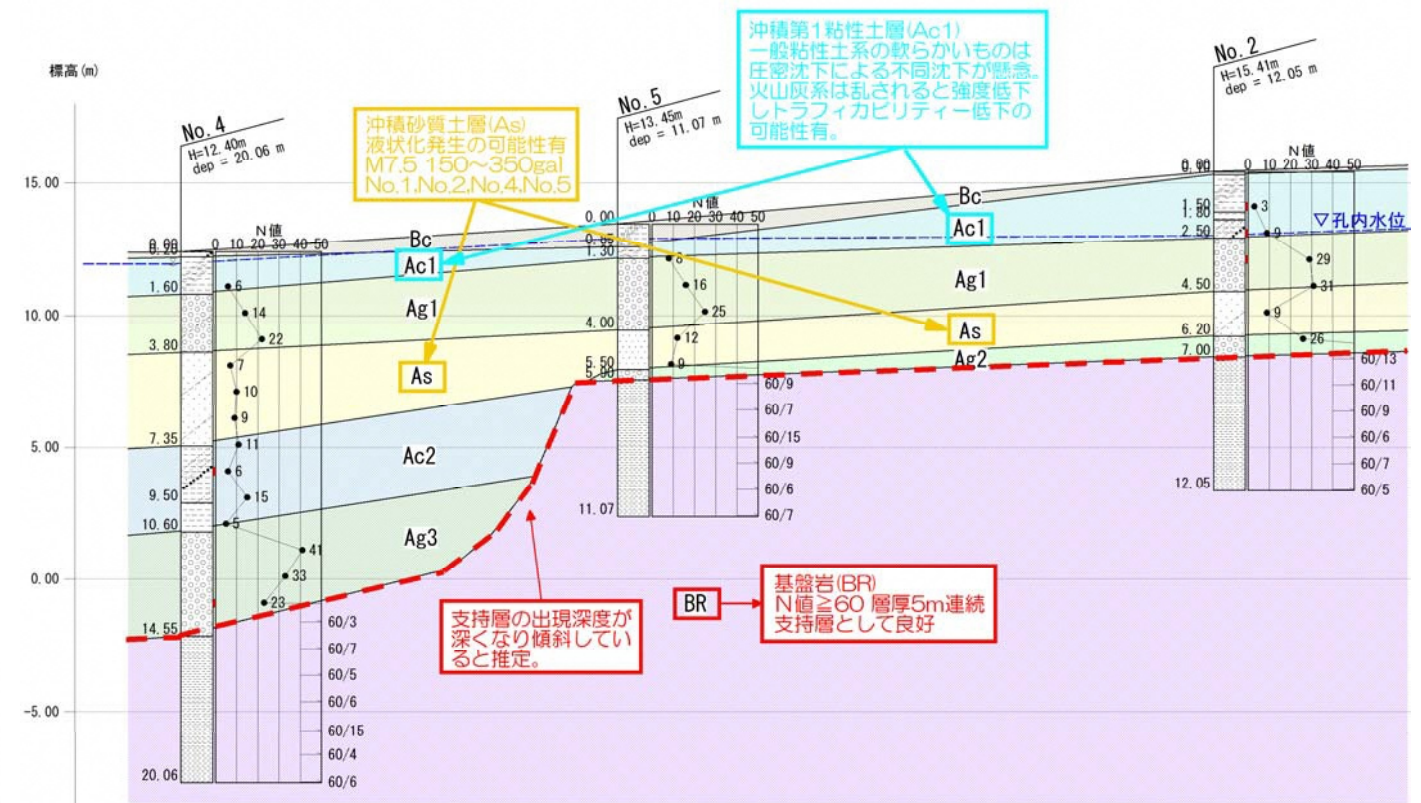


図 8.2 推定地層断面図 2 (支持地盤と留意点) [V:H=1:10]

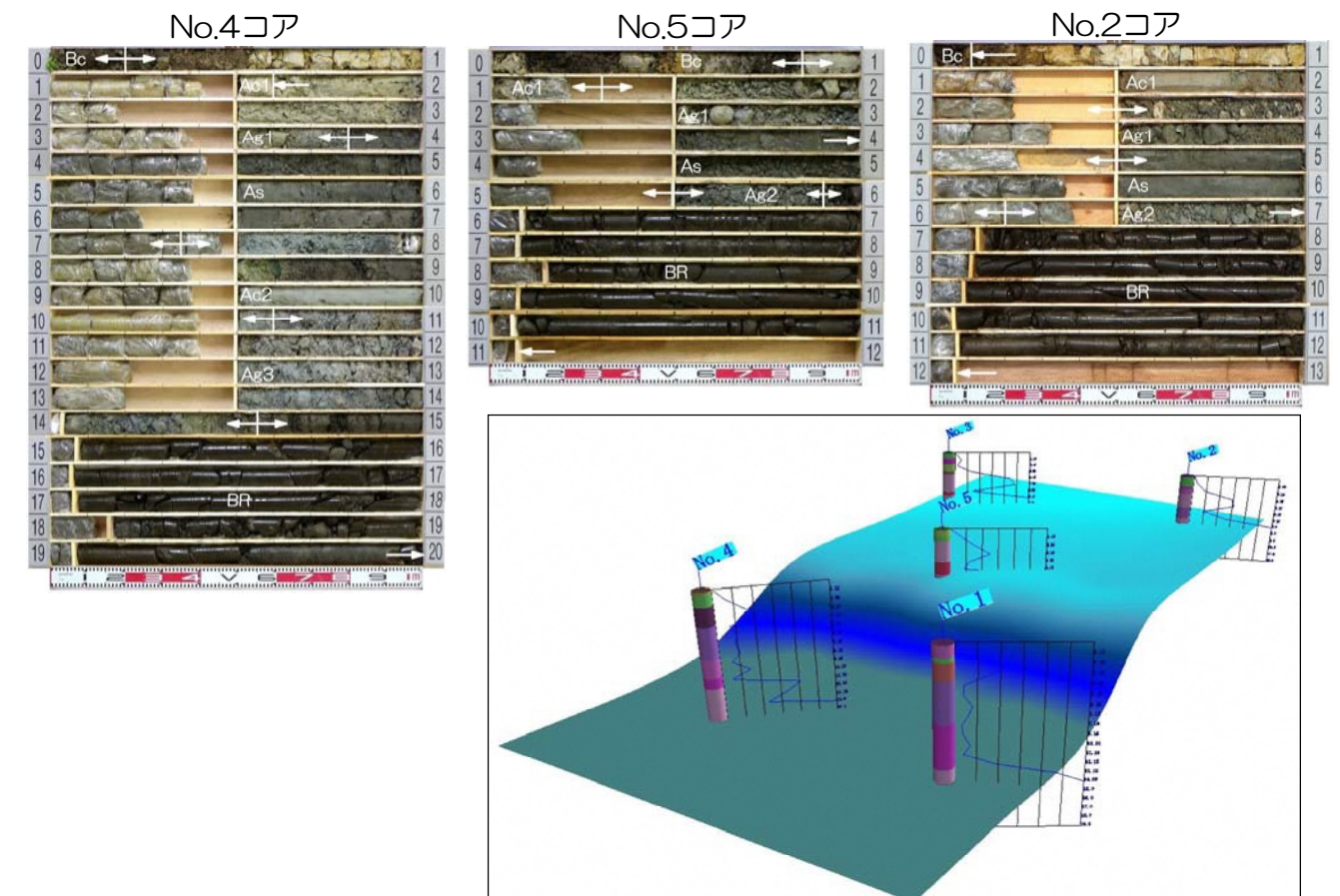


図 8.3 基盤岩 (BR) のイメージ図

以上

什器仕様						
LC	商品名：株式会社イトーキ	用途	商品記号	数量	単位	仕様寸法
1	トルテUチェア／ハイバック・ループ肘付	一般職用	KJ-316PV-T1N3	150	脚	540W*560D*865H
2	C Z R デスク／平机・L 脚（抗菌天板対応）	一般職用	CZR-127HAC-9SO	150	台	1200W*700D*720H
3	C Z R ワゴン／3 段（抗菌コーティング対応）	一般職用	CZR-046MACSB-W9SO	140	台	400W*593D*607H
4	アクトチェア／クロスハイバックアジャスタブル肘付	管理職用	KG-417PS-T1T1	40	脚	680W*640D*980H
5	C Z R デスク／平机・L 脚（抗菌天板対応）	管理職用	CZR-157HAC-9SO	40	台	1500W*700D*720H
6	C Z R ワゴン／3 段（抗菌コーティング対応） キャスターロック	管理職用	CZR-046MACB-W9SO	70	台	400W*593D*607H
7	スタッキングチェア	会議室用	KLK-162PV-Z9B2	80	脚	525W*555D*815H
8	スタッキングチェア	カウンター用	KLK-160PV-Z9B2	30	脚	500W*555D*815H
9	折りたたみテーブル スレント／樹脂幕板・棚付	会議室用	THN-186KS-T182	15	台	1800W*600D*720H
10	折りたたみテーブル スレント／幕板なし・棚付	会議室用	THN-186LS-T182	40	台	1800W*600D*720H

※管理職用：課長、局長、室長、指導監が使用

会計課	飯田 会計管理者 110	須藤指導監 113 111 小林指導監	本堂☆ 112 青銀派出所 154
	直通 755-2112 FAX 755-2145		
町民課	倉本 副指導監 123	三津谷 126 佐々木	中村 128 杉江☆
	工藤 課長 121	127 逢坂	
	遠嶋 指導監 122	須藤 177	相坂☆ 125
福祉課	市川 補佐 129	つきのき聖苑 755-2965 外ノ沢埋立地 755-5337	小形 124 蛭名
介護課	竹達 指導監 150	☆遠嶋 149 南	逢坂係長 145 奥崎
	塩越 課長 174	146 148 白濱	175 176 173 川崎 本堂☆
	山口 指導監 131	江戸係長 144 172 佐々木 副指導監	笹森 143 142 151 三津谷 鳴海 長尾佑
健康増進課	直通 755-2114 FAX 755-2145		
保健課	木下 指導監 139	井口 補佐 140 120	船橋奈 佐々木 江戸☆ 141 152
	小笠原 指導監 138	辻村 補佐	田村 澤田 齊藤
	松山 課長 132	蝦名 副指導監 135 134	山口 塩越☆ 船橋☆ 136 133 137
先進課	天永 指導監 130	遠嶋 副指導監	蛭名 小野 竹達☆

町長室 副町長室	柴田 指導監 232	佐々木 230 江戸主幹 242 231	甲斐 220 甲斐 231
	田中正 課長 235	田中裕 副指導監	石岡主幹
	直通 718-1325 FAX 755-2145 協力隊オフィス 762-7420		
企画政策課	工藤 指導監 223	金津副指導監 228 233 船橋主幹	二唐 229 234 田中将 237 田中智
	倉内 課長 221	船橋源 ☆ 倉本 ☆ 鳴海 ☆ 244 川村 ☆	236
総務課	船橋 指導監 222	古山係長 227 224 逢坂係長	山崎 226 三浦 工藤雅 225 ☆
	サーバ室 239	須藤副指導監 238 239	田中友
	選挙管理委員会 181・182		
税務課	直通 755-2111 FAX 755-2145		
議会議員控室	渡邊 課長 241	葛西 248 247	坂本 ☆ 赤坂
	太田 指導監 243	三津谷 246 245 八戸 逢坂	奈良岡
	直通 755-2115 FAX 755-2145	240 図面PC	
議会	佐々木 局長 311	片山補佐 312	須藤 ☆
	直通 755-2119 FAX 755-2145		

地域整備課	近藤 室長 262	田中 係長 271	太田 272 273 村上 工藤☆ 274
	佐々木 課長 261	須藤 副指導監 275	畑井 276 277 相坂 堀地 ☆
	垂井 指導監 263	阿部 副指導監 265 264 亀田 副指導監	工藤誠 267 266 蝦名主幹 船橋
農政課	農委会長 本堂 副指導監 254	石田 255 逢坂 ☆	
	飯田 課長 251	倉本補佐 256 本堂み	古跡 260 中里
	三津谷 指導監 252	山下 258 木村清係長 木村秀 副指導監 259	飯田 ☆
水産商工観光課	畑井 課長 322	長尾 ☆ 329 倉本	村本 325 326 飯田 副指導監 324
	直通 755-2118 FAX 755-2145 外ノ沢 755-5314 ふ化場 757-2358		船橋 328 副指導監 323
	公園管理事務所 直通 755-2663 FAX 755-5105	センターハウス 直通755-5812 FAX 755-5962 スキー場 直通 755-2756(75-20) FAX 755-4739 よごしやま温泉 直通755-5963 FAX 755-2515 緑の村管理センター 直通755-5506	

教育長室	340		
	図書館 直通 755-2138 FAX 755-3954	佐々木 ☆ 161	相坂 ☆
	青少年ホーム 直通 755-3945 歴史民俗資料館 直通 755-5020	成田 ☆ 162 163 長尾 ☆ 164	
生涯学習課	体育館 348 武道館 349	2階書庫 359 プール 755-3558	
	船橋 課長 361	松浦 353 玉熊 350 飯田	船橋浩 ☆ 351 ☆ 寺嶋 352 藤田
	寺嶋 副指導監 354	鳥谷部 355 平澤 ☆	蝦名 ☆ 356
教育委員会	傳法谷 補佐 357		
	渡辺 教育長 340	直通 755-2565 FAX 755-2078	
	須藤 課長 341	石田 ☆ 347 船橋千 344	ALT
学校教育課	千代谷 指導監 342		
	船橋 指導監 343	畑井 345	岸本 ☆ 358 増田 346
	給食センター 直通 758-1050 FAX 758-1051	安田 ☆ 遠島	
職員組合事務所	199		
	役場売店 157		
	女子更衣室 153		
車庫1階会議室	170	児童館 755-2354	
	171	中央病院 755-2131 644	
	分室2階会議室 281		
役場3階会議室	314	社会福祉協議会 755-3956・755-5333 165・166	
	3階印刷室 331		
	消防署長室 119	平内町コロナワクチンコールセンター 718-1727	
消防署事務所	189		
	755-3119		
	役場当直室 155・156	282・283	

別紙 4

○備品（旧庁舎から持っていくもの）一覧

※機器等に関しては既定の保守領域を確保すること。

※パソコンに関しては、職員が個々に使用するものとは別にパソコンラック、パソコンデスク等に配置して使用するもの。

課等名称	備品名	メーカー、型番等	数
印刷室	紙折機	LION,LF-S670	1
印刷室	電動裁断機	MAITZ、CE-4215	1
印刷室	メールシーラー	DUPRO、EX-4150	1
印刷室	印刷機	リコー、SATELIO DD4450	1
印刷室	卓上丁合機	DUPRO、DFC12	1
印刷室	大判プリンター	Canon、imagePROGRAF TM-300	1
印刷室	パソコン	デスクトップ	1
1 階共用	コピー機	RICOH、imageMP6001RC	1
2 階共用	コピー機	RICOH、imageMP6001RC	1
2 階共用	FAX複合機	RICOH、IMC4500	1
2 階共用	フォームバスター	DUPLO、FB-707	1
3 階共用	金庫 (期日前投票箱等保管用)	KOKUYO SAFE HS-80 幅91cm×奥行60cm×高さ178cm 推定680kg	1
総務課	プリンター	FUJITSU、XL9322	2
総務課	金庫 (総務課総務係設置)	高さ111cm×幅90cm×奥行45cm	1
旧消防庁舎署長室	大型プリンター (その1)	RICOH Pro F2120Y 機器サイズ 894×924×1383mm (W×D×H) ※突起物を除く 保守エリア 2890×2705×1733mm (W×D×H) 重量 360kg その他 電源の指定あり 接地形2P(2Wire) NEMA L6-30(250V) 単相 200V,30A 設置場所 印刷室	1
旧消防庁舎署長室	大型プリンター (その2)	FUJITSU VSP3802B 機器サイズ 710×910×1170mm (W×D×H) ※突起物を除く 保守エリア 1910×2410mm (W×D) 重量 165kg その他 電源の指定あり JIS C8303 3極 30A 引掛型 100V 設置場所 印刷室	1
税務課	エルタックスシステム	デスクトップセット	1

別紙 4

会計課	金庫	縦：120cm、横：60cm、奥：62.5cm	1
会計課	小型OCRスキャナ	(株)J-Scube、TOM9000ex	1
会計課	プリンター	FUJITSU、XL9322	2
会計課	パソコン	デスクトップ	2
税務課	土地台帳キャビ	キャビ (180cm×90cm×40cm)	5
税務課	家屋台帳キャビ	キャビ (180cm×90cm×40cm)	2
税務課	エルタックスシステム	デスクトップセット	1
税務課	土地図面閲覧システム	デスクトップセット	1
農政課	図面収納庫 (大)	W90cm×D37cm×H180cm	1
農政課	図面収納庫 (小)	W96cm×D46cm×H148cm	1
農政課	カラープリンター	EPSON LP-S7160	1
農政課	プリンター	Canon iX6830	1
農政課	プリンター	Fujitsu XL9322	1
農政課	パーソナルコンピューター	デスクトップ (情報系・Toybox・QGis)	3
農政課	畜産林務キャビン (大)	W90cm×D45cm×H210cm	1
農政課	畜産林務キャビン (小)	W90cm×D45cm×H180cm	1
地域整備課	大判複写機	RICOH MP CW2201 幅1,384×奥行き1,573mm	1
地域整備課	パーソナルコンピューター	デスクトップ (情報系・Toybox)	3
地域整備課	水道会計システム	デスクトップPC一式	2
地域整備課	水道管路台帳システム	デスクトップPC一式	1
地域整備課	下水道会計システム	デスクトップPC一式	2
地域整備課	プリンター	Fujitsu XL9440D	4
地域整備課	カラープリンター	Fujitsu XL-C8350	1
福祉介護課	MC介護保険システム共用端末	デスクトップPC一式 (横幅60cm×奥行60cm×高さ60cm)	1
福祉介護課	MC介護保険システム納付書用プリンター	富士通FMPR5130 (横幅80cm×奥行60cm×高さ40cm)	1
福祉介護課	認定審査会システム端末	デスクトップPC一式 (横幅60cm×奥行60cm×高さ60cm)	1
福祉介護課	認定審査会システム端末用スキャナー	富士通fi-7160 (横幅50cm×奥行40cm×高さ40cm)	1
福祉介護課	認定審査会システム端末用プリンター	富士通XL9382 (横幅50cm×奥行50cm×高さ50cm)	1
福祉介護課	国保連合会伝送端末	ノートPC一式 (横幅50cm×奥行50cm×高さ40cm)	1
福祉介護課	障害者支援区分判定端末	ノートPC一式 (横幅50cm×奥行50cm×高さ40cm)	1
健康増進課	国保総合システム端末	デスクトップPC一式 (横幅45cm×奥行45cm×高さ55cm)	1
健康増進課	国保健診管理システム端末	デスクトップPC一式 (横幅45cm×奥行45cm×高さ55cm)	1
健康増進課	国保健診管理システム用プリンター	リコーIPSIO_SP6320 (横幅50cm×奥行50cm×高さ40cm)	1
健康増進課	後期高齢者医療システム端末	デスクトップPC一式 (横幅45cm×奥行45cm×高さ55cm)	1
健康増進課	後期高齢者医療システム用プリンター	リコーVSP2910H (横幅50cm×奥行50cm×高さ40cm)	1
健康増進課	後期高齢者医療納付書用プリンター	富士通SP6410 (横幅80cm×奥行50cm×高さ40cm)	1
健康増進課	健康かるて共用端末	ノートPC一式 (横幅40cm×奥行30cm×高さ30cm)	1
健康増進課	健康かるて用スキャナー	富士通SP1425 (横幅45cm×奥行35cm×高さ30cm)	1
学校教育課	カラープリンター	エプソン PX-S7090X	1
学校教育課	公印置き場	W90・D50・H100程度のキャビ	1
学校教育課	学校文書配布棚	W140・D40・H60の木製棚	1
学校教育課	金庫	金庫 W50・D50・H70	1
学校教育課	検診器具	W130・D50・H100	1
生涯学習課	輪転機	Duplo DP-8550、W80 D70 H120	1

別紙 4

生涯学習課	卓上丁合機	Duplo DFC-10、W140 D60 H150	1
生涯学習課	大判プリンター	Canon TM-300、W130 D90 H130	1

別紙 5

○庁舎内に収納したい物品等

※×2となっているものは、右記サイズのものが2つ

単位：c m

収納するもの	現在の収納方法・場所	W	D	H	管理担当課
文房具その他消耗品類	物品庫	250	300	340	総務課
紙類	棚×2	120	45	200	総務課
封筒	棚	400	40	210	総務課
スクリーン	課内（通路足元）	190	12	10	企画政策課
プロジェクタ	キャビネット	40	30	10	企画政策課
ノートPC×3	キャビネット	40	30	20	企画政策課
町勢要覧等パンフ	図書室	200	50	60	企画政策課
広報ひらない（ハックナバー）	図書室、キャビネット	120	50	100	企画政策課
移住関係資材（コナ4つ）	キャビネットの上	55	40	140	企画政策課
ポスター	印刷室、分室2階	50	70	60	企画政策課
一時的な納付書類（30箱）	課内空きスペースに分散	90	120	75	税務課
毎月使用する納付書類（15箱）	課内空きスペースに分散	45	120	75	税務課
封筒（20箱）	スチールラック	55	124	65	税務課
納組関連物品	課内空きスペースに分散	100	100	100	税務課
その他税務課用物品	10段。仕切りが入って20種類収納可能	60	70	90	税務課
文房具その他消耗品類	物品庫×2	90	40	70	農政課
水道料・下水道料関係書類	棚	180	50	200	地域整備課
夜間徴収用金庫用収納	収納庫1つ・執務室	65	50	55	会計課
文房具・会計課徴収用消耗品等	横机2つ・執務室	70	40	75	会計課
福祉介護課資材・紙類 （納付書、計画・報告書、チラシ・パンフレット、プロジェクター、テプラ、民生委員関係物品一式、ラミネータ等）	執務室内空きスペース	100	100	180	福祉介護課
地域包括資材・紙類 （わなげセット、オレンジリング、足指力チェッカー、包括パンフ、スクリーン、ラジカセ等）	3階印刷室	100	100	180	福祉介護課
地域包括資材 （もの忘れ検診機器一式、訪問用品一式、感染防止対策用品一式）	当直室	150	150	180	福祉介護課
健診等資機材、用具等	当直室等空きスペース	360	360	200	健康増進課
健康増進課封筒・紙類	執務室の空きスペース（段ボール等）	60	40	180	健康増進課
健康増進課資材	廊下（キャビン、収納ケース）	570	40	180	健康増進課
健康増進課資材・紙類	印刷室の空きスペース（段ボール、収納ケース等）	290	40	180	健康増進課
紙類	休憩室畳上	180	60	100	学校教育課
学校備品置き場（消耗品・タブル）	書庫 段ボール等で収納	360	180	200	学校教育課
文房具その他消耗品類	キャビ（開発センター1階事務）	90	40	150	生涯学習課
封筒	キャビ（開発センター1階事務）	90	40	200	生涯学習課
インク・判子等	キャビ（開発センター1階事務）	60	40	90	生涯学習課

別紙 5

印刷用紙等	卓上チェスト4つ	40	40	40	生涯学習課
紙類	棚2つ（開発センター2階映画）	150	50	200	生涯学習課
大会・表彰関係物品	棚2つ（開発センター2階映画）	150	50	200	生涯学習課
イベント用物品	棚3つ（開発センター1階倉庫）	90	30	180	生涯学習課

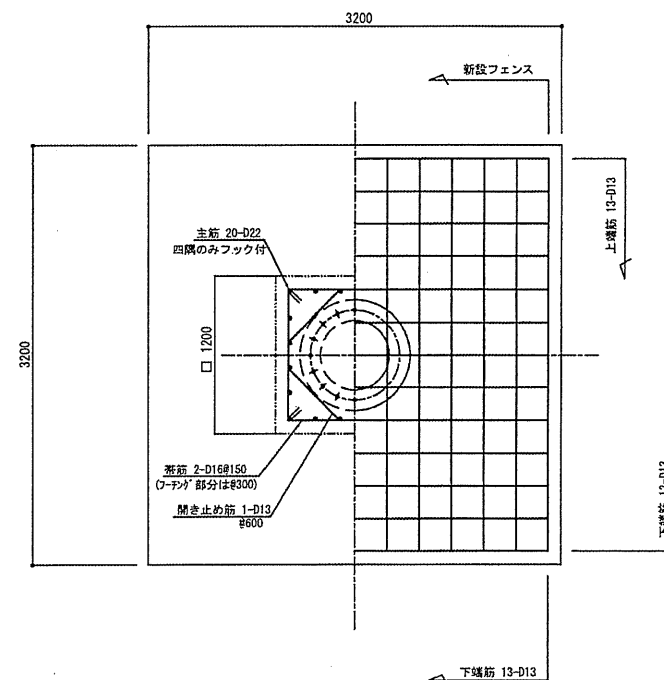
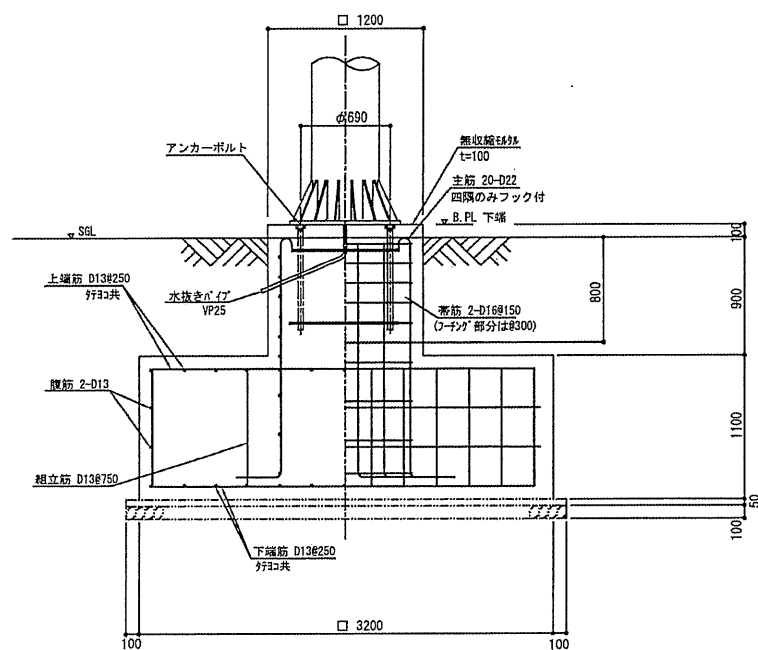
別紙 5

○庁舎外の車庫、倉庫等に収納する予定の物品等

單位：c m

[illegible]





工事名	
図面名	
作成年月日	
縮尺	
課長	
発注者	

通信系ケーブル

配管番号	外形	断面積	単位	備考
電線1	15.6	191.1	mm	12D-FB 同報系用
電線2	15.6	191.1	mm	12D-FB 移動系用
電線3	1.5	1.8	mm	VCT1.25mm×4C (スピーカ用)
電線4	11	95.0	mm	8D-FB 多重無線用
電線5	9.1	65.0	mm	CCVS-1.25×2C (風向・雨量)
電線6	10.5	86.6	mm	CCVS-1.25×4C (温度・湿度)
電線7	10.2	81.7	mm	S-7C-FB (J-ALRET用)
電線8	10.2	81.7	mm	S-7C-FB (LASCOM用)
電線9			mm	
電線10			mm	
電線11			mm	
電線12			mm	
電線13			mm	
電線14			mm	
電線15			mm	
電線総断面積		794.1	sqr	
何%にする		32	%	
管内径(最小限)		56.21	mm	
適応厚鋼管		70	G	
適応薄鋼		63	C	
適応E管		63	E	
適応VE管		70	VE	
適応CD, PF管		70	CD, PF	
適応FEP管		65	FEP	

電源系ケーブル

配管番号	外形	断面積	単位	備考
電線1	12.0	113.1	mm	CE/F 3.5mm ² -3C (多重無線用)
電線2	12.0	113.1	mm	CE/F 3.5mm ² -3C (多重無線用)
電線3	9.0	63.6	mm	SKEV-SB 0.5-2P (LED警告灯用)
電線4	9.2	66.5	mm	CCV-1.25mm ² ×2C (温度・湿度計)
電線5	9.2	66.5	mm	CCV-1.25mm ² ×2C (雨量計)
電線6			mm	
電線7			mm	
電線8			mm	
電線9			mm	
電線10			mm	
電線11			mm	
電線12			mm	
電線13			mm	
電線14			mm	
電線15			mm	
電線総断面積		422.8	sqr	
何%にする		32	%	
管内径(最小限)		41.01	mm	
適応厚鋼管		42	G	
適応薄鋼		51	C	
適応E管		51	E	
適応VE管		54	VE	
適応CD, PF管		54	CD, PF	
適応FEP管		50	FEP	

※平内町防災行政無線 放送室内移設対象機器明細（寸法及び重量）

No	名称	H	W	D	重量(Kg)	備考
1	操作卓	700	640	1,100	79	
2	操作卓制御装置	1,900	700	700	215	
3	袖卓	700	640	1,100		操作卓に含む
4	自動通信記録装置	245	387	364	12	
5	文字情報入力端末装置	33	374	250	2.05	
6	テレホンサービス装置	230	430	290	12	制御装置内実装
7	メール配信装置	43	435	559	16.6	ラック内実装
8	災害情報支援装置	311	368	360	9	2階 総務課
9	テレメータ親局装置	43	435	559	16.6	ラック内実装
10	テレメータ観測装置	99	480	239	10	ラック内実装
11	温度表示盤	850	1,310	140	38	庁舎外壁
12	J-ALERTラック	1,500	570	600	56	
13	エリアメールラック	1,500	570	600	56	
14	直流電源装置	1,950	600	600	365	
15	無停電電源装置	130	438	550	33	ラック内実装
16	気象情報表示盤	440	733	84	6.1	2階 総務課
17	移動系無線設備用ラック	701	622	728	20.35	
18	自動通信記録装置用ラック	700	600	500	23	
19	同報系無線スリムラック	1,600	260	266	50	
					1,019.70	

平内町役場新庁舎ネットワーク構成に係る要求水準書

I. 配管等

- (1) 外部接続用配管は役場庁舎で使用する外部ネットワーク回線を考慮し配管 54mm以上の配管を5本と同等程度の収納容量を要する配管を用意すること。又、保守メンテナンスを考慮した配管経路とすること。
- (2) 外部接続用配管は全てサーバー室に配管すること。
- (3) 庁舎内配管はUTPケーブル等の種類及び本数を考慮し、余裕を持った配管及び配管本数とすること。又、保守メンテナンスを考慮した配管経路とすること。
- (4) 電気分電盤とは別に情報分電盤を設けて情報系配線の保守メンテナンスの容易性を確保すること。
- (5) 情報分電盤の設置場所及び数についてはUTPケーブル等の種類及び本数、配線経路を考慮して適宜適切な設置を行うこと。

II. サーバー室

1. 基本事項

- (1) サーバーラック費用、サーバーラック設置費用、電源工事費用は建設工事に含めること。
- (2) サーバー室内はOAフロアとすること。
- (3) サーバー室にはサーバーラック及び防災行政用無線用のサーバーラックを設置し、規定の保守領域を確保し、入り口奥側に棚などを設置出来るスペースを確保したうえで、適切な広さを確保すること。

2. OAフロア

- (1) OAフロアは静荷重性能：5000N以上とすること。
- (2) OAフロアのパネル下レベルは150mm以上とすること。

3. 電源

- (1) 各サーバーラックに3系統以上の電源を確保すること。
- (2) サーバーラック6台中、3台に発電電源、残り3台に商用電源を確保すること。

4. サーバーラック

- (1) サーバーラックはEIA規格準拠19インチラックとし、高さ42U以上とすること。
又、装置固定部分の奥行きは740mm以上とすること。
- (2) サーバーラック設置台数は6台（防災行政用無線用は別）とする。

- (3) サーバラックは2台以上を直接接続できるタイプとし、接続面にパネルなどが無いサーバラックとすること。
- (4) サーバラック設置の際にOAフロア上に長期間設置することを考慮して設置すること。又、スタビライザー等による耐震補強を行うこと。
- (5) サーバラックには配線状況に応じて必要数のJJアダプター対応パッチパネルを設置しUTPケーブルが煩雑な配線にならないようにすること。また、パッチパネルから各通信機器等への接続を行うためのUTPケーブルについても適宜用意すること。
- (6) サーバラックにはルーター等のラックマウントタイプ以外の機器の設置が可能なように適宜棚等を設置すること。

Ⅲ. 執務室及び各会議室等

1. OAフロア

- (1) OAフロアは通信用配線を敷設するためパネル下レベルを150mm以上確保すること。

2. 電源

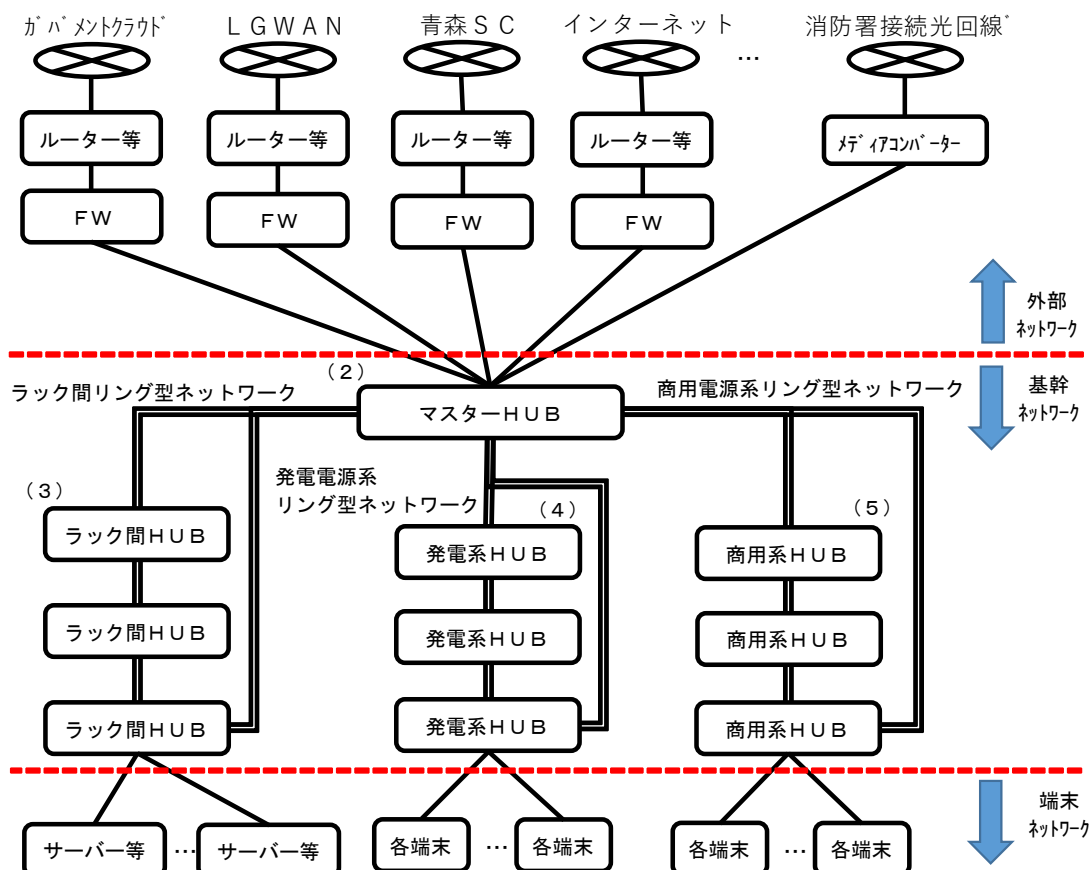
- (1) HUB収納ボックスの設置場所にHUB収納ボックスに収納するHUBの数に合わせた電源を確保すること。
- (2) 執務室にパーソナルコンピュータを接続するための電源の他、別系統でプリンター接続用電源を確保すること。

3. HUB収納ボックス

- (1) 執務室各島及び各室に状況に応じて各通信機器設置用HUB収納ボックスを設置する。尚、HUB収納ボックスは平内町で用意する。
- (2) HUB収納ボックスを設置することを想定して設置場所を確保すること。
- (3) HUB収納ボックスには配線状況に応じて必要数のJJアダプター対応パッチパネルを設置しUTPケーブルが煩雑な配線にならないようにすること。また、パッチパネルから各通信機器等への接続を行うためのUTPケーブルについても適宜用意すること。

IV. ネットワーク構成

(ネットワーク構成イメージ図)



※外部接続回線は現時点で次の接続が想定される。

1. ガバメントクラウド接続回線
2. L G W A N回線
3. 青森セキュリティクラウド (S C) 回線
4. T V会議用インターネット回線
5. 国保接続回線 (福祉介護課管理)
6. 認定審査会接続回線 (福祉介護課管理)
7. 消防署との接続回線 (光回線)

※基幹ネットワーク内のラック間HUBは24 P o r t HUBで構成する。

※基幹ネットワーク内の各HUBはラック間HUBを除いて基本48 P o r t HUBで構成する。
 (設置場所の使用回線の本数によっては48 P o r t HUB以外の設置の可能性もあり)

※マスターHUB及びラック間HUBはラックマウントタイプとしてサーバーラックに設置する。

※発電系HUB及び商用系HUBはラックマウントタイプとしてHUB収納ボックスに設置する。

1. 基本事項

- (1) 各ネットワークに配置する各通信機器（HUB等）は平内町で用意する。
- (2) 各通信機器間の接続回線（UTPケーブル）は建設工事に含める。又、UTPケーブルの配線工事についても建設工事に含める。
- (3) 特別指定が無い場合を除いて各通信機器間の接続はCat 6A以上のUTPケーブルとする。
- (4) 各通信機器は全てラックマウント式としサーバーラック及びHUB収納ボックスに設置する。
- (5) 全てのUTPケーブルに接続先がわかるタグを両端に付けること。

2. ネットワーク

(1) 外部ネットワーク

- ・外部ネットワークのネットワーク構成はスター型ネットワーク構成（スター構成）とする。

(2) 基幹ネットワーク

- ・基幹ネットワークのネットワーク構成はリング型冗長化構成（EPSR構成）とする。
- ・各通信機器間のUTPケーブルはCat 6A以上、シールド有りUTPケーブルとする。
- ・各通信機器間の接続はリンクアグリケーション接続（LAG接続）とし、回線本数は2本とする。又、予備回線を1本用意すること。

(3) 端末ネットワーク

- ・端末ネットワークのネットワーク構成はスター構成とする。
- ・職員各机に2回線の接続が出来るように回線敷設を行うこと。又、UTPケーブルにはローゼットボックスを設置すること。
- ・執務室各島（各係）に2回線の接続が出来る回線を各4本敷設すること。又、UTPケーブルにはローゼットボックスを設置すること。
- ・窓口カウンターに4回線の接続が出来るように回線敷設を行うこと。又、UTPケーブルにはローゼットボックスを設置すること。
- ・各室に4回線の接続が出来るように適宜情報コンセントを設置すること。
- ・玄関付近及び町民ホール並びにバス待合スペース及び各窓口にデジタルサイネージ等の設置を想定して2回線の接続が出来るように適宜情報コンセント（若しくはローゼットボックス）を設置すること。
- ・庁舎内全域をカバー出来る無線アクセスポイント（無線AP）を設置することが出来るように配線を敷設すること。又、無線AP接続用UTPケーブルにはローゼットボックスを設置すること。

- ・無線APの接続はCat 6A以上、シールド有り、PoE対応UTPケーブルとすること。

3. 機器構成

(1) マスターHUB

- ・サーバー室サーバーラック#1に設置。
- ・L3SWHUB、タグVLAN、リンクアグリケーション(LAG)接続対応、リング型冗長化構成(EPSR)マスター機、
- ・内部EPSR接続のマスター機、3種類のEPSR接続を制御する。

(2) ラック間HUB

- ・サーバー室各サーバーラック(#2～#6)に設置。
- ・L2SWHUB、タグVLAN、LAG接続対応、EPSRトランジット機。

(3) 発電系HUB

- ・庁舎内の発電電源接続端末等の設置場所に設置。非常時に発電電源により給電可能。
- ・L2SWHUB、タグVLAN、LAG接続対応、EPSRトランジット機。

(4) 商用系HUB

- ・庁舎内の商用電源接続端末等の設置場所に設置。非常時には稼働しない。
- ・L2SWHUB、タグVLAN、LAG接続対応、EPSRトランジット機。
- ・無線AP接続用HUB(L2SWHUB、タグVLAN、EPSRトランジット機、PoE対応)を含む。